

事例番号:300055

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第五部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 3 日

13:30 前置胎盤のため帝王切開目的で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 4 日

14:27 帝王切開にて児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 4 日

(2) 出生時体重:2918g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:不明

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 7 日 退院

生後 6 ヶ月 運動発達遅滞

生後 9 ヶ月 低緊張を認める

1 歳 9 ヶ月 筋緊張亢進を認める、頸定認めず、脳性麻痺の診断

(7) 頭部画像所見:

1歳0ヶ月 頭部MRIで先天性の脳障害を示唆する所見および大脳基底核・  
視床に明らかな信号異常は認めない

#### 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2名、小児科医 1名、麻酔科医 2名

看護スタッフ: 助産師 1名、看護師 2名

### 2. 脳性麻痺発症の原因

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に関与する事象を認めず、  
脳性麻痺発症の原因は不明である。

### 3. 臨床経過に関する医学的評価

#### 1) 妊娠経過

(1) 妊娠 37 週に前置胎盤のため予定帝王切開の方針としたことは一般的である。

(2) その他の管理は一般的である。

#### 2) 分娩経過

妊娠 38 週 3 日帝王切開目的のため入院後の対応(分娩監視装置装着、血液検査)は一般的である。

#### 3) 新生児経過

生後 7 日退院までの管理は一般的である。

### 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

#### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

#### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

#### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

##### (1) 学会・職能団体に対して

原因不明の脳性麻痺の事例集積を行い、その病態についての研究を推進することが望まれる。

**(2) 国・地方自治体に対して**

なし。